

# 六甲カトリック教会報

2005.8 No.404

## 8月のお知らせ

	教会暦	教会行事
1	月 聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士	
4	木 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭	
5	金	初金 7:00 10:00 ミサ
6	土 主の変容 日本カトリック平和旬間(8/15まで)	10:00 平和を祈る集会 13:00 平和旬間の講演会とミニコンサート
7	日 年間第19主日	13:30 平和旬間の合同礼拝
8	月 聖ドミニコ司祭	
10	水 聖ラウレンチオ助祭殉教者	
11	木 聖クララおとめ	
12	金	中高生会キャンプ(12日~15日)
14	日 年間第20主日	
15	月 聖母の被昇天	7:00 10:00 ミサ 19:00 平和を祈る集会
20	土 聖ベルナルド修道院長教会博士	納涼の夕べ 17:00 ミサ(19時ミサはありません)
21	日 年間第21主日	
22	月 天の元后聖マリア	
24	水 聖バルトロマイ使徒	
27	土 聖モニカ	聖書朗読リレー(8:00~18:00)
28	日 年間第22主日	
29	月 洗礼者聖ヨハネの殉教	

## 戦後60年を迎えて

暑中お見舞い申し上げます。

今年も8月が廻ってきました。今年には戦後60年ということで、マスコミなどで、いつにも増して戦争、そしてその後の日本が歩んだ道のりを取り上げていますが、戦後生まれの私たちは年配者から戦争体験を学ばなければなりません。この60年間、日本は戦争を知りませんが、それは平和である、ということではありません。戦争は勿論のこと、飢えや渴きを知らない人々にとって、その不足のない生活が“当たり前”と思っていますが、これは危険な状態です。安易な生活に流れやすく、慣れやすい人間にとって、それは心を鈍くするものです。

昔は大家族で暮らし、多くの世代とのふれあいによって心や感性が磨かれるといったことがありました。今はほとんどの家庭が核家族ですが、幸いにも、教会には幅広い年代の人々が集まっています。その方々との分かち合いや心遣いから、充実した生活をどの様に暮らしていいのか、考えて頂きたい。是非、年配の方には多くのことを若者に語って頂きたいと思います。若者は聞く耳を持たないとお思いの方もいると思いますが、教えるのではなく、体を通して、行動を通じて、信仰で伝えて頂きたい。それは鋭い、ピリピリといった感覚ではなく、自然に身につくように、体に溶け込んでいくように、生活に取り込んでいけるようなものであってほ

しい。

戦争は悲惨なものですが、国として、日本人として、人類としての貴重な体験を、次の世代へ伝えるべき宝物として引き継いでいくことは、私たちに与えられた使命のひとつです。

God bless you.

祈りのうちに

バレンタイン・デ・スーザ S.J.

---

---

## 各 部 会 だ よ り

### 👉 壮年会

男の料理教室：8月17日(水)10時から

9月予告：9月11日 おおいに語ろう会

関本クリニック院長・関本雅子さんのお話を聴きます。どなたでもお越し下さい。

7月例会報告(7/10)

この日は安芸神父様の「パウロの歩いた道」という題でのお話を聴きました。安芸神父さまは霊名が「パウロ」ということもあり、ことさらパウロに対する思いが強いご様子です。すでにパウロの伝道の足跡をたどる巡礼の旅にトルコ、ギリシャと回ってこられ、つい最近イタリア方面にも出かけられました。パウロの時代の地理や歴史背景など、現代とひきくらべて興味深くロマンの感じられるお話でした。さまざまな抵抗や迫害に会いながら、飽くことなき伝道を続けるパウロはエネルギーでまた謎に満ちた人物でもあります。短い時間で語り尽くせないお話ではありましたが、あとの質疑応答の時間もまじえて有意義なひとときであったと思います。

### 👉 婦人会

< 8月行事 >

5日(金) 初金ミサ 10:00

15日(月) 聖母被昇天ミサ 10:00

20日(土) 納涼の夕べ ミサ 17:00 後

お手伝い：中1、2、3

13時集合ドライカレーを作ります。

よろしくお祈りします。

< 8月掃除当番 >

5日(金) 東3・東4

12日(金) 東5・中1

19日(金) 西1・西2

26日(金) 中4・中5

### 👉 三日月会

8月例会は開催しません。

次回は9月第3月曜日に総会を実施します。

### 👉 青年会

< 定例会 >

8/14、28日(日)：お休み

< その他行事 >

8/20(土)：納涼の夕べの準備 13:00～

(於：六甲教会)

8/27(土)、28(日)：キャンプ(於：広島)

### 👉 社会活動部

\* 今月の社会活動部の各活動は夏休みにさせて頂きます。連絡会は9月2日(金)10時から再開いたします。お間違いのない様にお祈り致します。

\* 8月13日(土) この日の炊き出しは夏休み中につき、学生さん達が体験学習として担当してくれる事になりました。次回9月10日(土)の当番日には宜しくご協力ください。

\* 8月21日(日)手作りコーナーはお休みとさせて頂きます。9月の出店の折には、またご協力お祈り致します。

#### 【お知らせ】

社会活動部ではこの度、所有致しております4台の車いすを貸し出しする事に致しました。家庭内では車いすを使うほどの事はないが、“少し遠出を”と考えたり、通院の時などに「車いすがあると助かるな」と思われる方はご遠慮なく社会活動部志水までお申し出ください。

## 👉 養成部

< 8月予定 >

8/6(土) 平和旬間プログラムオープニング

講演会：午後1時(大聖堂)

講演者 境野勝悟先生

演 題 「日本のこころ」

境野先生プロフィール

栄光学園で18年間教鞭をとられ、現在神奈川県大磯で「こころの塾」を開く東洋思想家。

「日本の心と云うものは、『和』から生まれなくてはならない。『弱肉強食』の『競争』から生まれる心は、本来のわが国の精神ではない」

(先生の著書より)

ミニ・コンサート：午後2時15分

ヴァイオリン演奏 高橋真理さん(旧姓折川さん)

伴 奏 林典子さん(ドイツからのご帰国がこの日に間に合いました。感謝。)

合 唱 六甲混声合唱団

8/7(日) 午後1時(大聖堂) 日本キリスト改革派神港教会、神戸聖書教会、六甲カトリック教会による合同礼拝

説 教 水野務牧師(神戸聖書教会)

8/27(土) 聖書朗読リレー

一人10分の朗読で60名の参加を待ちます。朗読箇所は旧約はエレミヤ書、新約は使徒言行録を中心とします。エレミヤ書については少し養成部たよりに書きましたから、ご覧下されば幸いです。

## 司祭団の夏の予定

主任司祭より

- 1) まず嬉しいニュースとして、8月6日(土)~28日(日)まで、コリンズ神父(アメリカ人、上智大学在)が教会の手伝いに来て下さいます。2年前にも来て下さったので、サンタクロースのような(髭が豊かで)心の温かい神父を覚えておられることと思います。六甲滞在中、ザビエル・ハウスに宿泊されます。
- 2) 小学生の教会学校キャンプは7月31日~8月3日まで、高山神父同行。  
中高生会キャンプは8月12日~15日まで、桜井神父同行。  
8月20日(土) 納涼の夕べには、司祭全員参加出来そうです。
- 3) 黙想指導、会議、休暇などで、それぞれ司祭団の中で何名か不在になる時があり、また8月25日~28日までイエズス会総長の久し振りの来日に際して東京での集会とミサに何名か参加し不在になります。
- 4) 8月29日~9月6日まで、オマリー神父と桜井神父は「年の黙想」に出かけます。尚、高山神父は9月12日に、バレンタイン神父は9月18日にそれぞれ「年の黙想」に出かける予定です。
- 5) 同じ東ブロックのパウロ・セコ神父(住吉教会)が8月・9月の約2ヶ月間スペインに休暇のため帰国されますので、その間六甲教会からは神戸中央教会の主日ミサの応援に出かける予定です。

お知らせは以上ですが、暑い夏を吹っ飛ばすような愉快で涼しい集まりや信仰を深める会合がありますので、皆様のご予定に入れて下さい。祈りの道場・平和旬間(講演会・コンサート・合同礼拝)・信徒による祈りの集い・納涼の夕べ・聖書朗読リレー・大いに語ろう会などです。是非、友人・知人を誘ってお出かけ下さい。

## 結婚セミナーについて

六甲教会では過去 19 年にわたって教会で結婚される方のために「結婚セミナー」を行ってきました。昨年からは神戸地区の結婚セミナーとしてスタートさせることになり、全面的に見直しをいたしました。

その結果今までのプログラムを見直し、開催日時などを変更いたしました。主旨には大きな変更はありませんが、内容は現代の状況に合わせ、また参加しやすいように変更されました。一番最近に開催されますのは、9月中の毎日曜日2時からです。詳しくは事務所に案内文がありますのでご覧ください。

.....

## 地区会報告

### <中央区地区集会>

開催日時・場所：2005年7月3日(日)11時のミサ後、六甲教会にて。

中央区は4地域に分かれています。中央区単独では初めての集会でした。子育て真っ最中の若い方々の参加、それも男性お二人は予想外でしたが、心強くもありました。また、ハンディキャップの方の参加は、当初やや驚きがあったことは否めませんが、発言を聞くうちに同朋と知り壁を除くことが出来ました。先ずはお顔見知りが出来たと思います。

次のようなことが話題となりました。

新人にとって神父の顔と名前が一致しない。ホームページや教会案内パンフレットで案内する。新人の元の教会の規模により、六甲教会はこじんまりしてよい、六甲教会は敷居が高いなど、感じ方はいろいろあるようです。

次回は秋に教会以外の場所で開催したい。

.....

## 難民支援グループ「ルチア」活動報告

### <もう一人のSさん>

「わあ、ほんとうだ」長崎県大村の入管面会室に現れたもう一人のSさんは満面の笑み。前日、神戸入管から移されたばかりの彼は神戸の支援者の面会が信じられなかったのでしょうか。

34歳インドシナ半島の出身。来日時いわゆるポートピープルとして長期滞在を認められた一人。それから17年の日々を、やや弱さのある彼はその弱さを適切にサポートする援助も受けられないまま、収容施設や刑務所・病院などと町を漂っていたのです。そして今、前科者として在留許可も取り消され不法滞在している者。出身国が送還を受け入れない為日本に居る者。公的支援は一切ないにもかかわらず収入の伴う仕事をしてはならないという、この矛盾。サポートなしでは生きられない彼に在留特別許可をと奔走中に、入院中の病院を強制退院となり更正センターへ。そして神戸入管に再収容。5月末のことでした。少し心が通えたかと思った頃の彼の言葉。

「腹減った。あれ食べたい。お金ない。どうする？」(万引きで在留資格取り消し)「働いて腰が痛い。背中痛い。頭も。夜眠れない。・・・ヘロインやった。治った。」(麻薬で検挙)あなたは何か答えますか。極限の飢えも痛みも知らない私は答える言葉がなかった。あなたや私と同じに彼も神様の傑作です。神様の作品には駄作も失敗作もありません。彼の弱さは作品の傷ではなく支えあって生きよというメッセージの印。私達ルチアはそう信じて病院に面会していました。これからも支え続ける覚悟です。しかし、一人一人のすべてを背負うことは個人や民間ボランティアグループの力には余ることです。公的保護の保障の上でこそ。その為に在留特別許可を出してほしい。在特は法務大臣の専権事項だそうです。ベテランの支援者達はあらゆる方法で繰り返し訴えています。私たちがきついつかは岩も動くといなる希望を持って・・・移送の影響かややハイテンションだった彼もその後一月の収容に落込んでいたらしい今、ようやく在留特別許可を求め訴えを出してもらえ弁護士さんがみつかったとのこと。Sさん、我慢しようね。きっと出られる。そして今度こそ、ずっと安心して生きられるところに行けるから。私たち皆、そう信じています。

<ルチアの夢、グループホーム・・・どこかに空き家はないでしょうか>

## 第6回囲碁・将棋大会便り

6月25日(土)の10時から16時頃まで、16名が覇を競い合い、楽しい一日を過ごしました。優勝は、囲碁は甲田彪さん、将棋は前回に引き続き千原理さんでした。今回も作用郡にお住まいの米田さんが来て下さいました。

平素は毎土曜日午後1:00~5:00まで会を開いてます。どなた様でも気軽にお出でください。

(囲碁・将棋同好会)



### 一日祈りの会のお知らせ

この度、木曜日の聖書研究会のメンバーを中心に、一日の祈りの会を下記の通り計画しております。研究会に参加されておられない方でも、ご希望の方はどうかご参加下さい。

(安芸 瑛一神父)

記

日 時： 9月22日(木曜日)午前10:00~午後4:00頃  
場 所： 宝塚黙想の家(御受難会女子修道院 Tel.0797-84-7863)  
会 費： ￥3,000.- (昼食代含)  
集合場所： 阪急売布駅改札口 午前10時

9月15日(木)まで下記に口頭か電話でお申込み下さい。

六甲教会事務所 Tel.078-851-2846  
安芸 瑛一神父 Tel.078-801-0616

## 📖 図書紹介

『かばの詩』

グイノ・ジェラルド著

「喜びの家」刊

『真珠の首飾り』という本を2003年5月号の教会報で紹介しましたが、その本と同じ著者による書物です。各ページに小さい絵があり、デッサンがあって、絵本のように楽しいですが、50編の詩は著者の日ごろの神との付き合いや、周りの人との付き合いや、自分自身との付き合いを描いていて、「なるほど」とうなずきながら読めます。

ある女子修道会で分かち合いに使っておられると聞きました。

それもできますが、例えばホームレスという詩の中で、「主よあなたの内に住まわせてください。あなたがぼくの内に住まれる為に…そうするとわが神よ あなたもぼくも 決してホームレスにならない」と著者は詩っていますが、2004年10月の台風で著者自身が司祭館の崩壊という憂き目にあって、ホームレスのように他の人の家に住まれた事と考え合わせると、神様も随分ユーモアに溢れたユニークなプレゼントをなさるものだと、改めてこの本を身近に感じながら読み直しました。

大阪教区の司祭ですし、是非、読まれるようにお勧めいたします。(三輪 黎子)

## 「カメラータ神戸」阪神淡路大震災 10 周年感謝の音楽巡礼 ご報告と御礼

今年1月10日、六甲教会のノヴェーナの祈り（阪神淡路大震災10周年にあたり9日間の追悼祈りの集い）から、カメラータ神戸の感謝の音楽巡礼がはじまりました。その後、神戸中央教会、東京、愛知万博等とコンサートを進め、ベルギーでは故ペーター神父様の甥でもあるブルーノ・ペーター氏の温かいはからいで、アントワープ聖母大聖堂の聖母子像の前にたたずみました。一同は深い感動に言葉を失い、しばらく胸のうちをよぎる思いに涙しておりました。6月19日この大聖堂のごミサで「鎮魂から希望へ」のメッセージをミサ曲「ルックスイン神戸」に込めて演奏を奉獻致しました。音楽と祈りの中に、人種、国、言葉を越えた豊かな恵みを感じ、私達は大きな感銘と感謝の気持ちに満たされておりました。また、この機会に神戸市民、六甲教会の皆様の思いを鈴木肇氏の言葉に託して、アントワープの方々のお届けできましたことは、カメラータ神戸全員にとりまして本当に幸せなことでございました。

感謝のうちに。

カメラータ神戸

聖母子像に導かれて訪れたベルギー・アントワープの大聖堂に、カメラータ神戸はミサ曲「ルックス・イン・神戸」を始め、鎮魂の祈りと希望の光を込めた歌を届けることができました。ミサで読まれた神戸からの感謝の手紙には、震災から仲間とともに歩んだ十年間の実感が湧き、涙が溢れました。一人ぼっちでは成し得ない不思議な偶然、温かく迎えて下さる方々、神戸で見守って下さる方々、これまでお世話になった方々、たくさんのお恵みで胸がいっぱいでした。

多くの出会いと友情への感謝、この旅で得た思いを歌に託し、私たちは明日への希望を紡いでゆきたいと思えます。

とうとうアントワープのノートルダム大聖堂を訪れ、マリア様の御像にお会いする事ができました。マリア様がイエス様に「神戸の皆様にお会いできて嬉しいです」とおっしゃると、「うん！」とマリア様の頬を指でつついて喜んで下さったように見えました。感動で涙がとまりませんでした。

ごミサでは、作曲されたエリック先生の指揮のもと「ルックス・イン・神戸」を感謝の祈りをこめて歌いました。震災の支援を下さり、演奏を聴いて下さった方々との温かい交流を嬉しく思いました。また、会議を重ねて、私たちを心を尽くして歓迎して下さいました大聖堂、市議会、商工会議所の皆様に心から感謝申し上げます。

六甲教会のマリア様にご報告致しましたら、イエス様がまたつんとマリア様の頬をつつかれました、「よかったネ」。



今回の演奏旅行のきっかけになった聖母子像について少しお話をさせていただきます。

阪神淡路大震災の起こった1995年の夏に、六甲教会2代目の主任司祭のP.フーベルト・ペーテルス神父様の甥のブルーノ・ペータースさんが教区の視察で大阪に来られました。そうして叔父さんの赴任先であった六甲教会の様子を心配して下さり、訪ねられ、復興の為に何かお手伝いできないかと申し出て下さいました。表面上は順調に復興に立ち上がりかけていた時であったので、当時の主任司祭オマリー神父様は「皆様のお祈りで私たちを支えて下さい。」とお願いされたそうです。

帰国されたペータースさんは周囲に働きかけられ、アントワープの大聖堂で震災を受けた神戸市民のためにミサが捧げられたそうです。その後、再びアントワープからあった連絡は、「アントワープ市民から大聖堂にある母子像のレプリカを神戸市民の為に贈りたい。」というものでした。

これにはオマリー神父様も思いもよらない反響の大きさに驚かれたそうです。「外国にも心を寄せてくれる人がいる」その人々の心に応える為にも、鐘楼に設置場所を用意しました。信心を養う為、人々から見える外に向いた所にご像を置き、そして希望を持って立ち上げられるようにアントワープからの贈り物であるという紹介のプレートを取り付けました。

このような交流があり、今回のお礼の演奏旅行が計画され、実現されました。

オマリー神父様がアントワープを訪問された時とても親切に迎えて下さったペータースさんからの、カメラータ神戸宛の今回の演奏旅行についてのお手紙を最後に紹介させていただきます。

~~~~~

敬愛するカメラータ神戸の皆様へ

皆さまのアントワープ訪問に我々がどんなに感銘を受けたかをお伝えしたくて、お便りさせていただきました。みなさまの素晴らしい歌声、特に神戸からの友情と愛のメッセージには感動いたしました。

ここアントワープの地で、“アットホーム”にくつろぎ、楽しんでいただけた事は、私達にとっても貴重な経験となりました。皆さまの笑顔と熱心さには深く心を動かされ、私達も嬉しい限りでした。

皆さまの歌声は、天国からの偉大な祈りのようにカテドラルを満たし、いつも私達を見守っていて下さる聖母マリア様を称える賛美そのものでした。

みなさまそれぞれご家族のもとに、また中には六甲教会共同体に戻られている方もおられると思いますが、皆さまとの出会いはこれからもずっと私達の心の特別な場所に、大切な思い出として残っていくことでしょう。

是非これからも連絡を取り合いましょう。今回のイベントを、一度切りの特別な企画にしてしまうのではなく、これからも繋がりを続けていくことができますように。私達の扉と心は皆さまのためにいつでも開かれています。いつかまたお会いできることを心から楽しみにしています。

オマリー神父様をはじめ、六甲教会の皆さまにどうぞ宜しくお伝えください。

ブルーノ・ペータース

## 「平和を祈る集会」

8月を迎え日本カトリック平和旬間が始まります。この平和旬間は日本にとって特別な季節であり、平和への希望と決心を新たにする良い機会です。六甲教会でも毎年平和への願いを新たにするように、集会祭儀など行ってきました。今年は平和旬間の始まりと終わりの日に、信徒による祈りの集いを行い、「キリストの平和」について考え、祈りもとめる事としたいと思います。

初めの日のご家庭におられる方の参加がしやすいように、終わりはお勤めの方々の参加がしやすいような時間を組みました。ぜひ平和への願いを強く求めるために多数の方の参加をお願いします。

開催日時：8月 6日(土) 10:00～(小聖堂)  
8月15日(月) 19:00～(小聖堂)

教会報9月号の発行は、9月4日(日)です。  
編集会議は8月28日(日)です。  
記事原稿は、8月21日(日)正午までに信徒会館事務室  
へご提出願います。(広報部)  
<http://www.rokko-catholic.jp>

六 甲 カ ト リ ッ ク 教 会  
〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21  
電 話 078-851-2846  
発行責任者 桜井彦孝神父  
編 集 広 報 部